

昭和53年度.オリエンテーション資料

# 西高生となるために

北海道札幌西高等学校

# 札幌西高等学校校歌

——わが西高校に献ず——

風巻 景次郎 作詞  
平井 康三郎 作曲

大正十三年三月 96-100

1. そらひろし そらひろし のそらはとほし  
2. コスーン ロンユキーン ロン イノチハ タン

くあたらし ああはやくしに  
たらしく ああこつとめ

3. かせよよし かせよよし ぼくらはたかし  
しからを あねりつたつる  
とものむれ ココロは オクサントン

しからを あねりつたつる  
とものむれ ココロは オクサントン

か のひかり おもひし おかいたたし  
みをつねにさしめよ わがたなへ

文化の光 想ふべし  
若く 正しく 新しく

一、空ひろし 空ひろし  
希望は遠し 朋の群  
力をあはせ うち建つる  
文化の光 想ふべし

若く 正しく 新しく  
ああ 行く雲に 創造の  
調は 高く こだませよ

二、雪しろし 雪しろし  
生命は正し 朋の群  
心はつよく 凛として  
自律の園に 咲きにはへ  
若く 正しく 新しく  
ああ 吹く風に 肩あげて  
平和の園を ひらかずや

三、風きよし 風きよし  
北斗は高し 朋の群  
神秘の謎に つつましく  
眸をつねに さし向けよ  
若く 正しく 新しく  
ああ 若人の まみ寄えて  
叡智のかげを 宿さずや  
西高校

## 1. 札幌西高等学校 教育目標

- 生徒ひとりひとりがみずから考え、みずから学び、みずから鍛える教育。
- 人間相互の理解と信頼を深め、調和のとれた成長をめざす教育。
- 責任を重んじ豊かな社会性と公正な判断力を養う教育。

## 2. 学年目標

1. 将来進むべき方向を見通して、学習の目的を明確化させることにより、意欲的な学習態度を養い、学力の向上をはかる。
2. 集団活動への参加をとおして、集団の一員としての自覚と協働性をたかめ、自律的・積極的な行動力を養う。
3. 健康と安全に留意し、規則正しい生活習慣を身につけ、体力の増進をはかり、強くたくましい心身を培う。

### 3. 昭和53年度 入学者教育課程表

#### 基本方針

1. 各教科科目、各教科以外の活動の各領域の調和をはかり、知識、情操、意志、体力の調和のとれた創造力、実践力けたかな人間形成をめざすものとする。
2. 教育内容の精選をはかり、基礎的な学習が充分に行われるよう配慮する。
3. 第1、2学年においては、適性の発見につとめ、第3学年においてはそれぞれの適性、進路に応じて弾力的に科目の選択ができるようにする。

教科	科目	標準 単位	1年	2年	3年			
					文	文Ⅱ	理	選択
国語	現代口語	7	3	2		2	2	
	古典ⅠⅡ	5	3	2				
	古典Ⅲ	3			5	3		2
社会	倫理社会	2		2				
	政治経済	2			2	2	2	
	日本史	3			5	5	5	
	世界史	3		3				2
	地理A	3	3					B 2
数学	数学Ⅰ	6	6					
	数学ⅡB	5		5				
	数学Ⅲ	5				3	6	2
理科	物理Ⅰ	3		3				
	化学Ⅰ	3		3				
	生物Ⅰ	3	3					
	地学Ⅰ	3	2					
	物理Ⅱ	3						
	化学Ⅱ	3						
	生物Ⅱ	3						
	地学Ⅱ	3				3	6	
保健 体育	体育男	7	4	4	}	}	}	}
	体育女	7	2	2				
	保健	2	1	1				
芸術	音楽Ⅰ	3~6	}	}	}	}	}	}
	美術Ⅰ							
	書道Ⅰ							
	書道Ⅱ							
外国語	英語B	15	5	5	6	6	6	
	英語会話	3						2
家庭	家庭一般	4	2	2				
	小計		32	32	25	27	28	
教科外	ロクホーホーム	3	1	1	1	1	1	
	クラブ活動	3	1	1	1	1	1	
	合計		34	34	29	31	32	

選択必修科目(3年)

各1科目選択

- 文Ⅰ  
地理B、世界史  
英語会話
- 文Ⅱ  
古典、地理B、世界史  
美術(音楽書)、数学  
英語会話
- 理  
古典、地理B、世界史  
美術(音楽書)、  
英語会話

※ 合計のうち第3学年は選択必修1科目2単位を含む。

#### 4. 学 年 行 事

1学期	2学期	3学期
オリエンテーション 1/6	進路調査 1/2	学年集会 3/5
図書指導 2/6, 3/7	学年集会 1/6	
ST検査 5/1	学年P懇 1/2	
学年集会 6/5		
学年P懇 1/6	進路調査 1/6	
宿泊研修 2/1~2/3		

各学期に個人面接が行われます。  
日程は予定ですが変更されることもあります。

#### 5. 成績の評価・評定

各教科科目の成績は、定期考査(年間5回)、日常の小テスト、学習態度(提出物の内容等も含む)などを資料として評価され、第1学期、第2学期は10段階で評定されます。評定1となった場合は、夏季休暇または冬季休暇中に学習させ、その後、追試験を行ないます。学年末には総合的に判断し、5段階で評定されます。

#### 6. “単位”について

- (1) 高等学校の学習の成果を表わす形式は「単位」という言葉を使います。毎週1時間(50分授業)の学習を1年間継続し、学年末に「2」以上の評定がなされた場合、「1単位修得した」と認定されます。
- (2) 単位を修得するためには、出席時数が授業時数の80%以上でなければなりません。80%に満たない場合は原則として単位の修得を認めません。しかし、病気治療のため長期欠席したような特別の場合は60%以上の出席があれば、単位を認定することがあります。
- (3) 成績評定(学年末の5段階)で「1」となった場合および正当な理由がなく出席時数が80%に満たない場合は単位の修得は認められません。1科目でも単位が不認定になりますと原級留置となってしまいます。

7. H-R 担任. 教科担当者

学年主任 渡辺 道夫

組	科目		現代語	英語	地理A	教I	生物I	地学I	体育	保健	芸術	家庭科	英語R	英語C
	H.R	担任												
1	千葉邦嗣	楠美	大嶋	常本	平野	柿本	萩原	加藤	千葉	山田	藤藤	丹治	藤原	
2	柿本顕敬	老川	丸山	鈴木									越川	
3	南 輝雄	大嶋	板垣	常本	南	高島		加藤	小松	山田		佐藤	工藤	
4	鈴木敏彦	老川	丸山	鈴木			佐藤					丹治	杉田	
5	楠美敏夫	楠美	常本	南				山田				佐藤		
6	大嶋 寛	大嶋	丸山	平野					千葉			工藤		
7	加藤精二	板垣	日高	常本	鈴木	谷	山見	石藤	加藤				佐藤	
8	平野弘一	大嶋	老川	丸山	平野							近藤		
9	橋本順子	楠美	常本	南	高島	佐藤			小松		千石		丹治	
10	工藤 萬	板垣			蛸崎							工藤		

8. 日課時間表

\* 留意事項

時限	時間帯	備考
S.H.R	8:30~8:40	朝の連絡等
1	8:45~9:35	授業
2	9:45~10:35	"
3	10:45~11:35	"
4	11:45~12:35	"
昼休	12:35~13:15	13:15に予鈴
5	13:20~14:10	授業
6	14:20~15:10	"
S.H.R	15:10~15:15	連絡事項等
掃除 部活動	15:15~17:00	部活動は17:00 まで

- (1) 朝生徒玄関は8:27頃開鎖施錠します。  
8:25までには教室に入るようにください。
- (2) やむをえず欠席する場合はできるだけ早く学校に連絡しましょう。ただし、電話による場合は朝8:30以後に。  
欠席の記録は生徒手帳に記入し、担任の先生に届け出て、押印してもらいましょう。
- (3) 遅刻、早退は必ず担任の先生に届け出ましょう。(生徒手帳による)。  
無断早退、無断欠席は絶対してはいけません。
- (4) 下校時間を守りましょう。(左表)
- (5) 生徒集会(ア、センブリー)があるときは午後5時のS.H.Rは16:10~16:15になります。(月曜日)

## 9. 学習の方針

- (1) 学習とは： 諸君は今、入学のよろこびと高校での生活に、大きな期待と、かすかな不安とをもちながら、「大いに勉強してやろう」とはりきっているでしょう。  
「初心忘るべからず」です。  
しかし、その意気込みと、それだけでは1学期たらずで「強いられた勉強」に早変わりするでしょう。これは、「大きな夢と高い理想」とそれを段階的に達成する具体的な目標がないからです。高校の学習は「みずから求めて」「自分で考えて」進めて行くのです。そして、その学習から、諸君の人生を、自分にと社会にも、有益義に生きてゆくような基本的な知識と、学習する方法を身につけてゆくことです。
- (2) 計画的に： 高校生活、その大きな柱は「授業」ですが、ホーム・ルームやクラブ活動も大切です。それらを調和させて行くには、「1日」「1週間」「1ヶ月」「1年」の使い方が問題になります。自分の体力、学力、環境にあった合理的な計画をたてることと同時に、「継続は力なり」「ケジメをつける」などの習慣をつくることも大切です。
- (3) 授業を中心に： 高校におかれている教科はすべて諸君の成長過程の中で基礎となるので、どの教科にも積極的な態度が必要です。さて、その授業が「生氣あふれる授業」になるかどうかは諸君の「みずから学ぶ態度」つまり、発表や質問や討論が活発に行なわれることにかかっています。西高のどの教室と活気のある素晴らしい授業が展開されています。それは諸君が授業中心の学習を積極的に進めていることであり、それが最も学習の成果をおげることになります。
- (4) 予習、復習： 上に述べてきたように、授業を自分のものにして行くには「予習が最も重要」です。ノートなどで予習で整理して、授業ではメモ程度にするべきです。さもないと復習がノート整理だけで終わり、あとは何とできなくなります。  
「復習」は「反復練習」の時間です。自分のものにしてしまうことです。

以上、学習に対する基本的なことがらについて述べてきましたが、その「学習」を支えるものは何といても、「強い探究心」と「正しい生活」と「すぐれた体力」です。希望にみちた元氣はつらつたる諸君を、先生方は大きな期待をもちて迎えようとしています。

## (国語)

### <現代国語>

- 予習—— 声を出して読む。難解語句を調べる。  
授業—— 展開にしたがって発表したり、ノートをまとめたりする。  
復習—— 難解箇所を整理、漢字の書きとり、関連図書を読む。

### <古典> (古文・漢文)

- 予習—— 声を出して読む。ノートを作り言葉の意味を調べ、現代語訳をしてみる。  
授業—— 自分の作ったノートをもとに、正しい解釈と鑑賞を学び、内容を理解する。  
復習—— 難解箇所を整理。文法のまとめ、文庫本などで現代語訳付きの全文を読んでみる。

なお、読書量の少なさを補うことに心がけ、図書館を大いに利用して欲しい。国語科で図書館と協力して、読書指導の充実をはかっています。また、辞書の利用はむろんのこと、副教材として使う「総覧」の有効な活用、作文の機会を多く与えるなどで正しく読みとる力と表現する力を身につけて欲しいと考えている。古典では1年時に基礎を固めておかないと、上級学年に進んでから苦労するので、しっかり勉強して欲しい。

## 〔数学〕

- ア. 教科書中心の予習、復習を「毎日」1時間30分から2時間、必ず勉強すること。  
 イ. 学習は、①基礎の理解、②適用と理解の確認、③応用の3段階からなっている。  
 ウ. 学習法

予習— 次の講義の箇所を2-3回読み、ポイントをつかむ。

授業— 着想、考之の運び方など落さずメモする。疑問はその場で質問して解明しておく。

復習— その日習ったことは、その日のうちに(くり返し練習して)自分のものにする。

ノート— 2冊のノートを併用する。1冊を教科書、講義用として使い、もう1冊は問題専用とし、まちがっても消しゴムで消さずに色鉛筆で訂正し、またその後を続けて解いてゆき、ゆきづまったら×印をかくて、やり直す。(再度同じミスをしないうえ)

計算カ— 計算は紙切れにバラバラにせず、順序よく書き、後でみて判るようにする。計算の1段階ごとにチェックしながら進め、平常から頭を働かせて要領を心得せよ。

問題集— 各自で練習する。出来ない問題は印をつけておき、後日再度やってみる。教師への(参考書)質問は「ここまでやりました…」と明示して聞く。こなす量で力が決まる。

エ. 勉強の習慣をつくれ。とにかく1日と欠かさず毎日着実にやること。

オ. 自主的に進めてゆく意欲が必要。さあ自分でやってゆこう。

## 〔英語〕

ア. 高校における英語の授業をうけるにあたっては予習、復習は欠くことはできない。毎日あつかわれる教授内容をその日のうちに理解するように勉学をすすめていただきたい。

イ. 英語の基礎的な事項は暗誦によって完全に自分のものになる。そのため特に1年生には暗誦練習をしてもらう。早くその習慣を身につけるよう努力していただきたい。初めにその方法を心得てしまえばそれほど難しいことではない。

ウ. 家庭学習として与えられた課題は必ず完全にとげろ。授業をスムーズに進めるために是非必要なことです。怠けると後でくやむこととなります。

エ. 素直な気持で担当の先生の指示に従って、勉強の方法を早く確立して下さい。先生方とできるだけ相談に応じ、助言したいと考えています。

## 〔社会〕

(地理A) 地理学習には系統地理と地誌の2つの方法があります。本校で学習する地理Aは系統地理学習が中心となります。

学習の主な内容は { 1. 地図、地形、気候など自然環境を主とした学習  
 2. 農牧業、工業の生産活動を主とした学習  
 3. 貿易、交通、人口、開発、民族、国家 } など広い領域にわたります。

りますが、理論的に学習するばかりでなく、地域の理解を通して現実の流動のなかで把握しなければなりません。従って地図帳の利用や日常生活の中での事象と結びつける観察力が大切です。1年の地理学習の中で発表や研究の課題も多いが視聴覚教材や機器の利用(NHK通信教



育講座「地理」毎週土曜日PM9:30~10:00、同「現代の世界」毎週火曜日PM3:15~3:35などのVTRを通して楽しくわかりやすい学習をすすめております。現代は情報化時代、国際的な交流の時代といわれ、地域性、人間性が強調される時代です。近代人としての常識は地理に負うところが大きいのですが、さらに2,3年で歴史、倫社、政経の学習を進展させる手がかりとなる重要な科目です。

## 〔保健体育〕

- ア. 予習 — 特に指定はしないが、各種目のルール等を理解しておく。また、その運動種目を実施できる運動技能、体力を養っておくこと。
- イ. 内容 — ①実施時間 男子4単位(格技-柔剣道1単位)、女子2単位、保健は男女共単位。  
 ②実施目的 大筋肉運動を通じての人格完成を目的とし、よき社会人になるように指導する。(実技)  
 ③期間種目 第1学期 — 体操、陸上(7-11、短距離)、水泳、格技(男子)、  
 第2学期 — 陸上(長距離)、球技(バレー、サッカー)、水泳、格技(男子)、ダンス(女)  
 第3学期 — スキー。
- ウ. まとめ — ①心身の発達を図る。体力の向上を図る。規則正しい生活をおくる。  
 ②各種の運動における競争や協同の経験を通して、公正、責任、協力を養う。

## 〔理科〕

### 〈生物〉

- ア. 予習 — 予習しないで授業をうけることは設計図を作らないで家を建てることに等しい。
- イ. 授業 — 授業時間は講演を聞くのと違うのだから、質問をした、意見を述べたり、ノートも有効に活用したりすることが成績向上に役立つ。
- ウ. 復習 — 「継続は力なり」の名言のように反復することが必要。
- エ. 結び — ①入学時の希望と期待を忘れずに。  
 ②授業時は雑念をすてる。  
 ③終始着実に学ぶ。

### 〈地学〉

- ア. 授業第一主義。教科書徹底マスター。
- イ. 余裕のある者は予習。ついでに多くの精一杯の者は復習という形が原則。
- ウ. 「わかる」ということと「できる」ということの違いを知り、その差をちぢめる努力が大事である。
- エ. 要するに、「やる気」を起こすこと。フラクティス メークス パーフェクト 「習うより慣れよ」というのではないが。

## 10. 進路について

新入生諸君は、いま大きな希望と抱負をもって、高校生活をはじめようとしている。諸君の将来には大きな可能性がある。この可能性の中から、何を発見し、何を育て、どのような生きがいのある人生を創造していったらよいであろうか。

このような課題をひとりひとりが自分自身の力で解決していくために、これからの高校生活を十分に役立たせなければならない。

高校生活の3年間は、長いようで短い。卒業期が間近になってから、「さて自分の将来はどうしたものか」と考えるようではもう遅い。入学の感激も新たな現在から将来の設計にとりかかる必要がある。高校からさらに上級学校へ進学するのが、文化系の学部がよいのか、あるいは理科系か、実社会に出て働く場合、どんな事業所で、どんな仕事をしたらよいのか。

こうした問題を諸君はこれから具体的に解決していくことを迫られるのである。それには成長の途上にある自分自身をさらに深く、正しく見つめる必要がある。また、大学について、産業界の実際の姿について、いっそう広い明確な知識や理解を得る必要がある。

進路選択に際しては、自分自身をよく知るために、まず自己の精神的特徴をいろいろの観点から分析してみる必要がある。そのためには、知能・学力・適性・興味・性格などの各面からの探知が必要であり、それぞれ、適当と思われる時期に、そのようなテスト・検査を自己診断の資料として役立つように実施することになるが、このなかで、学力面は教科学習と密接な関係があり、学習の進展に応じてテストを受け、その結果を次の学習への反省材料としていく必要がある。

年間5回の定期テストと、その役割の一部となるが、それは定められた範囲という条件をとり、その条件をはずした既習事項全般にわたっての学力診断をしなければ普通の努力の成果は十分に測れない。そのようなことから、1年生を対象に次のような実力テストが実施されるので、それが各自の学習の中に十分いかせるような配慮をのぞみたい。

### (1) 学力診断テスト

8月中旬(夏休み明け)に英語、数学、国語の3教科、1月中旬(冬休み明け)に英語、数学、国語、理科、社会の5教科について実施し、その結果をSSに示して、校内生の比較で、各教科の学力の実態を測定する。

### (2) 校外実力テスト

校内という視野の中だけでは進路決定(選抜)の資料としては不十分であり、学習到達度は最終的に他校生との比較で考えなければならない。その意味で、本校では1年生に対し、次のテストを実施する予定です。

### 進研高1学力検査

・期日 7月15日、11月4日、1月27日。

本年3月の卒業生の進路状況は、次の通りです。

(1) 就職状況

区分 男女別	希望	決定	内 訳					
			銀行	報道	運輸	製造	共済連	公務員
男	6	6 (2)	0	0	0	2 (1)	0	4 (1)
女	8	8 (7)	2 (7)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (2)	0 (1)
計	14	14 (19)	2 (7)	2 (1)	1 (1)	4 (2)	1 (2)	4 (2)

( )内は昨年度

○ 進学希望の生徒については、従来いわゆる現役で大学に入る生徒は、国公立大学では約25%、全体で約54%（過去3年平均）で、男女別でみると、男子の現役進学率は50%を割り、女子は70%近くなります。

できるだけ卒業時に、第1志望の大学に入学してほしいものです。そのためにも平常の授業を大切に、目標に向かって毎日毎日大事に、着実な努力を続けるべきで、「継続は力なり」何事にも忍耐、自分の弱さを鍛えよう。

(2) 進学状況 昨年度 ( )は浪人。合計は浪人を含む。

北海道	94 (50)	山形	4 (1)	日本	10 (6)
岩手	2 (1)	茨城農工	2 (1)	藤女子	20 (6)
東北	1 (1)	横浜国立	3 (1)	北海道薬科	4 (1)
千葉	4 (1)	鳥根	2 (0)	北海学園	27 (2)
東京工業	1 (0)	札幌医科	6 (3)	北星学園	15 (6)
名古屋	1 (1)	高崎経済	2 (2)	法政	8 (5)
京都	3 (1)	東都立	2 (2)	武蔵工業	1 (1)
東京	2 (2)	横浜市中立	1 (1)	明治学院	9 (7)
一橋	2 (2)	青山学院	2 (0)	明治学院	1 (0)
旭川医科	7 (4)	岩手医科	1 (1)	酪農学園	4 (3)
小樽商科	20 (4)	金沢医科	1 (0)	立命館	5 (3)
帯広畜産	5 (3)	金沢義塾	9 (6)	立命館	21 (16)
室蘭工業	11 (7)	慶応学院	3 (1)	早稲田	12 (9)
北見工業	4 (0)	芝浦工業	1 (0)	日本医科	1 (1)
北海道教育(中)	19 (8)	中央	12 (8)	昭和医科	1 (1)
北海道教育(北)	5 (2)	同志社	14 (11)	藤女子短期	52 (17)
弘前	5 (4)	東京理科	8 (6)	天使女子短期	5 (0)
				昭和女子短期	1 (0)
				武蔵女子短期	10 (2)
				大谷短期	3 (1)
防衛大学校	3 (2)	防衛医科	2 (2)	小樽商科短期	3 (1)
航空大学校	6 (6)			青山女子短期	3 (1)

## 11. 日常生活について

### (1) 生活基準について

本校の生徒としての生活のあり方は、生徒手帳にのせてあるが、特に気をつけたいことがらを次にあげます。

(生徒手帳—本校生徒の身分を証明する大切なものであるから、必要事項を書き入れ、身分証明書と共に、常時携行する。)

ア. 遅刻・早退・欠席・欠課 生徒手帳に記入し、担任に届出る。

朝8時30分からホーム・ルームが始まるので、それまでに入室していること。とくに遅刻者については厳重に指導します。学校生活の馴れ、気のゆるみから生じる遅刻のないうち充分に注意すること。朝、5分早目に家を出る。

イ. 落し物、盗難

必ず所属または担任に届け出ること。貴重品・金銭などの保管については充分注意すること。

ウ. 服装、持ち物について

本校では、制服を制定していません。自分自身の生活に責任をもち、自らの良識に期待するためです。服装は清潔で品位を保ち、華美にならないよう留意すること。

勉強に関係ない雑誌や遊び道具などは、学校に持って来ないこと。

エ. 身分証明書

本校の生徒であることを証明する大切なものであるから、常時携帯すること。

オ. 靴について

a. 屋外での体育の授業時には、白色スポーツ・シューズ(運動靴)を使用のこと。

b. 屋内での上履は紺色の運動靴に統一している。

### (2) 教科以外の活動について

ア. L・H・Rと集会(アセンブリー)について

a. 集会(Assembly) — 原則として月曜日の5時間目とする

b. SHR(Short Home Room) — 朝と終業後の10分のH.R

c. LHR(Long Home Room) — 週1時間のH.R

H.Rは生徒会組織の基本単位として、生徒会活動に参加しますが、さらにH.Rの自主計画による活動と行われます。

イ. 必修クラブについて

課外部活動とは違った目的をとって、全校生徒が、体育系・文化系のいずれかのサークルに参加して活動する。

ウ. 部・外局・同好会について

放課後に加入者によって自主的に行われる活動で、体育系・文化系・生産系・同好会・外局がある。

エ. 学校行事について

特に、生徒にとって関心の深いもの、生徒会と関係深いものをあげると、

a. 宿泊研修 — 1学期に、1年生全員参加で、2泊3日にわたり行われるもの。各種レク活動、登山、宿泊を通じて団体・集団の規律や、友好と親睦をはかります。

b. 遠足

c. 運動会

d. 西高祭

e. マラソン大会

## 12. 健康管理について

- (1) 自律的な健康管理に心がけ、適切な早期治療につとめていただきたい。
- (2) 学校生活で問題となる事故や病気(近視、ノイローゼ、心臓病、腎臓病、交通事故など)、とくに最近多くなっているノイローゼについては、早期発見に心がけ、教師、専門家と相談しての適切な処置が必要です。

### (3) 各種行事について

上記の早期発見につとめるため、学校では次のことを行います。

ア. 6月8日 — 聴力検査、心電図、血圧検査。(心臓病、腎臓病などの早期発見につとめ、体育の授業、クラブ活動、宿泊研修、日常の学習に支障のないようにする)

イ. 4月25日 — 健康診断(身長、坐高、体重、胸囲、視力の測定、眼科  
5月10日 色神の検査)

ウ. 4月18日 — X線、尿検査。

エ. 未定 — 内科検診、歯科。

なお、心身について問題を感じたときは、早目に学校に連絡し、また、無理な生活をしないよう心がけて下さい。

### (4) 学校安全会加入について

学校管理下における生徒の災害については、日本学校安全会による災害共済給付がなされます。

ア. 加入金 — 年間450円、1年契約。

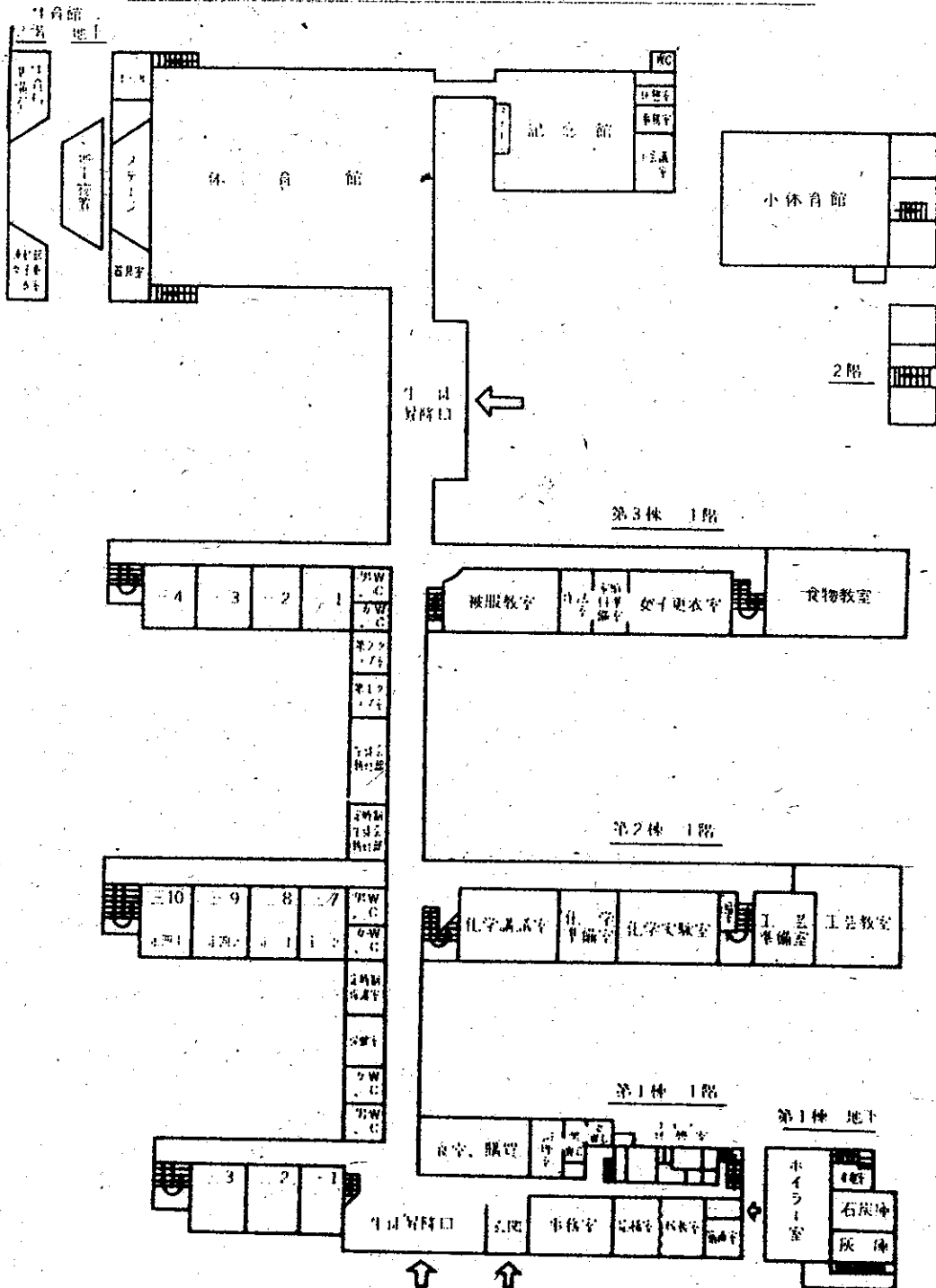
イ. 支給額 — 各種健保による個人負担額に相当する金額。

ウ. 本校では、全員が加入しています。

### (5) 掃除について

自分たちの生活の場を、自分たちの手で掃除し、清潔な環境を整えることは、共同生活を営むうえで、大切なことです。責任感をもって、基本的な生活のルールを守って行って下さい。

# 校舎平面図 (I)



# 校舍平面图 (2)

